

# あきる台たいむす

## Akirudai Times



さつき薬局

秋川店

0425-58-8416

(あきる台病院すぐ前)

介護用品・一般薬品・保険調剤

月・火・水・木・金 9:00~18:30  
土 9:00~13:00

※日曜・祭日はお休みです



**AKhp**  
Akirudai Hospital group  
-best care and nursing-

〒197-0804

東京都あきる野市秋川6-5-1

TEL (042) 559-5761

FAX (042) 559-8054

2016年(平成28年) 7月 1日

第28号

発行人: あきる台病院(医療福祉相談室)



### 第6回研究発表会開催される!

平成28年5月20日「研究発表会を終えて」

#### 在宅部門 セッション1 高橋由美

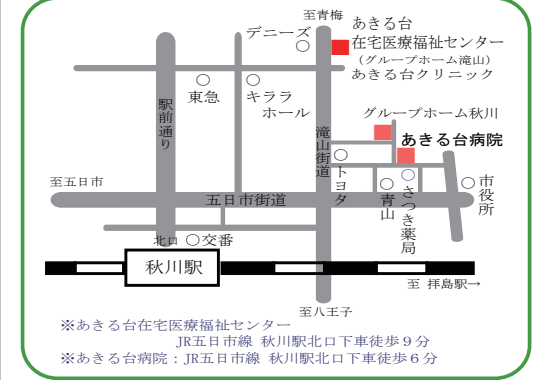
二次予防について(高齢者はつらつセンター)「げんき応援事業」について(高齢者在宅サービスセンター)、ケアマネージャーの仕事って?(あきる台病院居宅)、脳卒中から復活をとげたKさんの事例(あきる台ケアサービス訪問介護)研究発表も6回目を迎え、普段接する機会の少ない部署や事業所の取り組みや事例を聞ける機会は本当に貴重だと毎回感じます。あまりにも大勢の職員が一同に集まるので、発表する側はとても緊張している様子が伺えますが、事業としての取

り組みを伝えたい、知って欲しい、理解して欲しいという様々な熱い思いが発表会の雰囲気をもっと良いものにして欲しいと思います。質疑応答こそなかなか出づらい感じはありますが、回数を重ねていくうちにもっと活発な意見交換の機会が必要になるのではないかと思います。今回の演題については、どの事業も地域の方々自立した生活を個々の事業所だけではなく、他事業所、他部署が連携を図りながら協同で支えていく必要性を感じることも出来たとともに有意義なセッションIでした。

#### 病院部門 セッション2 高水幸子

第2部では①「勤怠管理と」は「事務部経理課 平本麻知子・竹内智子②「健診センターサポート係の役割」看護部外来・健診 小林亜貴・山本千絵③「あきる台クリニック訪問リハビリ小平地域支部の紹介」リハビリテーション部 奥山徹也の発表がありました。多くの勤怠管理については多くの質問がありました。今までのあやふやにしてきた勤怠管理について経理課からの発表で印象を受けることが明確になった。カードの重要性を再認識し、

また経理での確認作業の大変さも理解できました。個人が確実にタイムカードを打刻し打ち忘れをしないことが大切であると思います。健診センターサポート係の仕事は昨年3月からスタートしたばかりです。健康診断を受けてくださる人に早期発見・早期治療を目的とし受診しただけの健診にあらぬようフォローさせていただいています。健診結果の確認作業から始まり、精密検査受診の管理など受診者様の電話対応も行っています。システム活用のうまくいかず、手探りでスタートしてクリアしていく作業も多く又、電子カルテの導入や健診システムの変更に伴いその業務がスマートになるようこれからの課題はたくさんあります。予防という概念からは受診者様のニーズに合わせた対応や活動を行っていきたく考えています。健康診断をあきる台病院健診センターでやってよかったです。思ってたより健診であるように、また、サポートさせていただきます。皆様さんに健康診断の大切さを感じてもらえるよう頑張っていきたいと思っております。



#### あきる台グループボランティア募集中

あきる台グループホームでは、お年寄りの方々を楽しませていただくボランティアを募集しています。※詳しくは医療福祉相談室まで

ユール)を発表されたことでこの発表の目的としていた医療法人財団の職員に訪問リハビリテーション小平地域支部の活動を理解していただくことに十分つながったのではないかと思います。毎年行われる研究発表会で各部署が普段活動している内容や頑張っていること、また職員に知ってもらいたいことなど幅広い内容で発表が行われています。各部署のことを理解するのにいい機会であると同時に部署や業務内容は違いますが同じ医療法人財団の職員が意欲的に活動していることを知ることによって自分の仕事に対する活気や楽しさを感じています。来年も楽

## ～行方不明者搜索訓練の取り組み～

【在宅福祉部門：松波希代子】

平成26年テレビ番組NHKスペシャルで「認知症800万人時代行方不明者1万人～知られざる徘徊の実態～」が放映されました。平成24年一年間で行方不明者が9607人に上りうち351人が死亡、208人が平成24年末時点でも行方不明のままという実態が明らかになり、認知症高齢者の徘徊が社会問題となったことは記憶に新しいのではないのでしょうか。昨年7月の警察庁発表によると平成26年認知症が原因で行方不明になったとして家族らから警察に届けられたのは1万783人。前年より461人（4.5%増）多く、2年連続で1万人を超えていることがわかっています。うち行方が分からず未確認の人は168人となっています。さらに平成25年までの届け出を含めると、昨年中に所在確認できたのは1万848人。そのうち、届け出たその日に確認できたのは65.4%の7091人1週間以内にみつかったのは97.2%の1万539人。確認された人のうち、警察が発見して保護した人が6427人、自宅に戻るなどで保護された人が3610人。429人はすでに死亡。中には、所在確認までに2年以上かかった人が73人いたということでした。当法人は外来・入院病棟、グループホーム、通所リハビリ等の医療・介護のサービスを提供し認知症の方の治療や介護に携わせて頂いています。「徘徊、行方不明から認知症の方の命を守るために我々に今できることを実行しよう」「早期発見が認知症の方の命を守る」という意識を強く持ち、昨年度法人内で「行方不明者搜索プロジェクト」を立ち上げ

ました。どうしたら早期に発見することができるかの話し合いを重ね搜索地図、搜索方法のマニュアルを定め、年2回の法人全体の行方不明者搜索訓練実施に至ることが出来ました。適切な搜索範囲・搜索手段を用い搜索に加わる人員で搜索手順を確実に踏んでいくかが早期発見のポイントです。搜索の指示を出す本部、搜索に当たる職員、双方が緊張感を持って参加します。汗を流し走り回り、市民の方に写真をお見せし「こういう人を見かけなかったか」と声をかけて必死の搜索ですが、訓練であっても発見に至ることは少なく一人の行方不明者を限られた人員でこの広いあきる野市内で発見する難しさに直面していますが、継続して訓練実施と搜索方法の評価を重ね発見の精度が上げられるよう頑張ります。今後においては他機関とも連携しあきる野市内の認知症高齢者行方不明者搜索のお役に立てるように頑張っていきたいと考えています。



### 介護保険の相談は

□ お問い合わせ □  
TEL：042-550-6101



### あきる台病院 ケア・サービス

訪問看護・訪問介護・居宅療養管理指導  
居宅介護支援・通所リハビリ・訪問リハビリ

確かな技術  
快 適 性  
安 心

### 人間ドック



### あきる台病院 健診センター

皆様の健康を、心・身・社会の観点から多角的に  
チェック・確認し、適切なサービスで支援します

□ お問い合わせ・ご予約はこちらまで □  
TEL：042-559-5449/2943（直通）